

Caspar.AI は “Alexa スマートプロパティーズ” のソリューションプロバイダーとして機能強化

Alexa の機能を通じて家族は施設の両親の健康状態を常時把握



Caspar.AI は (先般 Amazon が発表した) “Alexa スマートプロパティーズ” のソリューションプロバイダーとなりました。

「Alexa スマートプロパティーズのソリューションは、Caspar.AI が高齢者に健康で快適なより良い体験を提供する技術について その拡張やカスタマイズを許容しています」 こう話すのはサンフランシスコベイエリアのハイテク企業 Caspar.AI 創業者であり CEO のアシュトシュ・サクセナ博士です。

同氏は続けて「わが社の技術はシニアが生活する上でたいへんユニークなソリューション生み出すプラットフォームを提供しています。たとえば “How’s Mom?(ママは元気?)” の自動応答機能により 家族は Alexa のデバイスを通じて両親の健康や活動状況を常時把握できます。しかも施設のスタッフを煩わすこと無しにです。」

「助けて！」施設スタッフに助けを求める

居住者は、音声コマンドを通じて施設のスタッフに助けを求めることができます。チームメンバーはその居住者からのアラートのみならず、Caspar のアンビエントセンサー (Caspar 独自の周辺センサー)からの自動通報も入手することで 当該居住者の状況を詳細に把握します。これら複合情報入手により、スタッフはよりの確な判断を行うことができます。

Caspar 独自のインサイトダッシュボード (居住者データの概要に加え 知見の要約も合わせて表示) によりスタッフメンバーが効率的かつ効果 的にケアプラン作成可能

Caspar.AI のホームセンシングソリューションは高齢者施設に各居住者の重要な分析情報を提供します。介護付き住宅や認知ケア施設においては、Caspar.AI のディープラーニング(深層学習)で得られた30以上の分析結果により ケアスタッフに居住者の睡眠の質、健康状態などの情報をもたらします。これにより施設は適切なスタッフ配置やケアプランの改善を図ることができます。

(大企業級の) ハイエンドなソリューション

Caspar.AI は今般 "Alexa スマートプロパティーズ" を取り込むことで、さらに強化された(大企業級のハイエンドな)ソリューションを提供します。Caspar.AI のテクノロジーは 自社発明による 7 件の米国特許を保有し、転倒アラートや分析データに基づく知見(インサイト)提供などにより介護事業の改善に貢献しています。

プレス コンタクト先: Joe Anderson, info@caspar.ai